24 弦歌（げんか）の声（こえ）

疑問形・反語形

／50

1 本文

子＊（し）①之㆓武＊（ぶ）城（じやう）ニ㆒、聞ク㆓弦＊歌之（の）声ヲ㆒。夫（ふう）子（し）
莞＊（くわん）爾（じ）トシテ而笑ヒテ曰（い）ハク、「A割（さ）クニ㆑鶏（にはとり）ヲ焉（いづ）クンゾ用ヒンヤト㆓牛刀ヲ㆒。」子＊（し）
游（いう）対ヘテ曰ハク、「B昔―者偃（えん）也（や）、聞ケリ㆓諸（これ）ヲ夫子ニ㆒。曰ハク、
『君子学ベバ㆑道ヲ②則愛シ㆑人ヲ、小人学ベバ㆑道ヲ則
易シト㆑使ヒ也。』」子曰ハク、「二＊三子、偃之言ハ是（ぜ）
也。C前言ハ戯レシ㆑D之ニ③耳。」

私は、先生から次のようなことを聞きました。

（『論語（ろんご）』）

3 @ポイント

空欄に本文中の語句（白文）を入れよ。（2点×5）

孔子が□1の町に行き、楽器の音と歌声を聞いた。孔子はにっこり笑い、「□2」と言った。子游は、「以前に先生から次のことを聞きました。『□3が道を学ぶと、民を愛するようになり、□4が道を学ぶと、使いやすくなる。』」と言った。孔子は弟子たちに、「子游の言葉は正しい。□5は冗談だよ。」と言った。

4 設問

①解釈　――線部Aの言葉を子游はどう理解したか。最も適当なものを、次から選び、記号で答えよ。（7点）

ア　武城のような小邑を治めるには、礼楽の教えでどうして治められようか。
イ　武城のような小邑を治めるには、礼楽の教えだけでよく治められる。
ウ　武城のような小邑を治めるには、礼楽の教えが最もよい。
エ　武城のような小邑を治めるには、礼楽の教えを用いるまでもない。

②書き下し　――線部Bを平仮名で書き下し文にせよ。（6点）

③指示　――線部Cは何をさすか。本文中から白文で抜き出して答えよ。（5点）

④指示　――線部Dは何をさすか。本文中から抜き出して答えよ。（4点）

⑤内容　弦歌の政（まつりごと）について、孔子と子游とはどのように考えているか。最も適当なものを、次から選び、記号で答えよ。（6点）

ア　孔子も子游も肯定している。
イ　孔子は否定しており、子游は肯定している。
ウ　孔子も子游も否定している。
エ　孔子は肯定しており、子游は否定している。

語注　＊**子**＝孔子。　＊**武城**＝魯（ろ）の邑（ゆう）の名。　＊**弦歌之声**＝楽器の音と歌声。　＊**莞爾**＝にっこり。　＊**子游**＝孔子の弟子。姓は言、名は偃。子游は字。このとき武城の長官であった。　＊**二三子**＝弟子たちに対する呼びかけの言葉。

2 ことば

重要語彙

Q - - -線部①～③の本文中の読みを選び、記号を○で囲め。（2点×3）

① 之
ア　し　イ　の
ウ　これ　エ　ゆキテ

② 則
ア　のつとル　イ　したがフ
ウ　すなはチ　エ　もシ

③ 耳
ア　みみト　イ　のみト
ウ　じト　エ　かなト

句形チェック

■疑問形・反語形■

＊黒字は疑問形の、赤字は反語形の読み。
＊白文では疑問形と反語形の形式上の区別はない。送り仮名や文脈から判断する。

［文末に疑問の助字を使う形］

- ～乎（邪・耶・哉・也・与・歟・夫）（か・や）（〔セ〕ンや）
  疑 読 ～か・～や　意 ～か。
  反 読 ～〔セ〕ンや　意 ～か、いや～ない。

［疑問詞を使う形］

- 何（胡・曷・奚）（ゾ）（ゾ）～（スル）（〔セ〕ン〔ヤ〕）
  疑 読 なんゾ～〔スル〕　意 どうして～するか。
  反 読 なんゾ～〔セ〕ン〔ヤ〕　意 どうして～か、いや～ない。
- 何為（胡為）（レゾ）（レゾ）～（スル）（〔セ〕ン〔ヤ〕）
  疑 読 なんすレゾ～〔スル〕　意 どうして～か。
  反 読 なんすレゾ～〔セ〕ン〔ヤ〕　意 どうして～か、いや～ない。

5 Let's チャレンジ

次の各文を書き下し文にせよ。（2点×3）

① 女（なんぢ）忘レタル㆓会（くわい）稽（けい）之恥ヲ㆒邪（か）。（十八史略）

② 何ゾ前（さき）ニハ倨（おご）リテ而後ニハ恭シキ也（や）。（十八史略）

③ 帝力何ゾ有ラン㆓於我ニ㆒哉（や）。（十八史略）